

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム)

環境行動計画のあゆみ

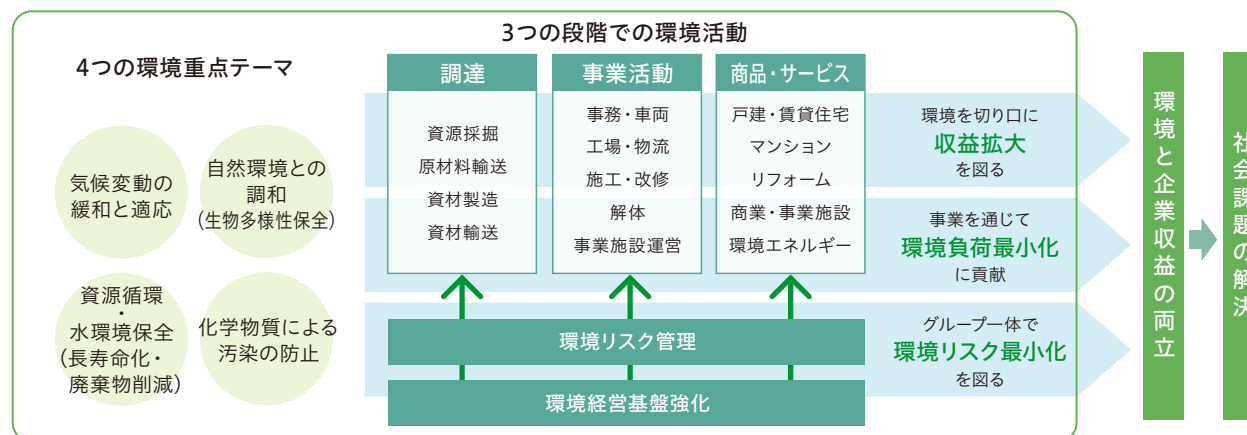
大和ハウスグループでは、環境長期ビジョンの実現に向け、環境長期ビジョンからバックキャスティング（逆算）した、2030年のマイルストーンを設定し、中期経営計画の対象期間に合わせて、およそ3～5ヵ年ごとに具体的な目標と計画を「エンドレス グリーン プログラム (EGP)」として策定し、活動を推進しています。

[WEB](#) [環境行動計画](#)



環境行動計画の全体像

EGPでは、ステークホルダーの関心度および事業との関連性が高い「4つの環境重点テーマ」を特定し、これらに対して「調達」「事業活動」「商品・サービス」の3つの段階において取り組みを進めます。



マテリアリティと第7次中期経営計画および、環境行動計画のつながり

当社グループでは、“将来の夢”（パーパス）を実現するために取り組むべき課題（マテリアリティ）を2022年度に設定しました。マテリアリティの特定においては、社会変化をふまえ、“将来の夢”の実現に必要な要素を検討。「18の重要課題」を導き出し、そのなかには、「人・街・暮らしのカーボンニュートラル」「生物多様性ノー・ネット・ロスへの挑戦」「サーキュラーエコノミーによる資源の持続的利用と水資源保全」が含まれています。

そして、特定されたマテリアリティの一つに、「サーキュラーエコノミー&カーボンニュートラル」があります。このマテリアリティをふまえ、策定した第7次中期経営計画（2022～2026年度）では、重点テーマの一つに「すべての建物の脱炭素化によるカーボンニュートラルの実現」を掲げました。

また、第7次中期経営計画と合わせて策定した「EGP2026」では、気候変動・生物多様性保全・資源循環を含む4つのテーマを環境重点テーマとしてKPIを定め、取り組みを推進しています。

[WEB](#) [Road to 2055とマテリアリティ](#)

「エンドレスグリーンプログラム 2026」の重点方針

- “まちづくりのカーボンニュートラル”実現に向けて、すべての事業において原則、全棟ZEH・ZEB化、全棟太陽光発電搭載を推進する
- “事業活動のカーボンニュートラル”実現に向けて、新築自社施設を原則全棟ZEB化するとともに、2025年度のRE100達成を目指す
- サプライヤーと「カーボンニュートラル」「森林破壊ゼロ」「ゼロエミッション」の方針を共有し、環境を起点にサプライチェーンの強靱化を図る
- ESG評価のさらなる向上に向けて、社会・ステークホルダーの期待に応える取り組みを強化する（環境貢献型事業の拡大、気候変動リスクへの適応）
- 「EGP2026」を“より早く”実践するため、環境経営基盤を整える（環境マネジメント体制の強化、環境人財の育成）

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)

「エンドレス グリーン プログラム 2026」(2022 ～ 2026 年度) は、7つの「チャレンジ・ゼロ」をふまえ、2030年のマイルストーンからのバックカスティング思考に基づき策定しました。

7つの「チャレンジ・ゼロ」		主な指標	2021年度実績	2026年度目標	2030年マイルストーン (環境長期ビジョン)	詳細ページ
気候変動の緩和と適応	1 まちづくりにおけるCO ₂ の “チャレンジ・ゼロ”	商品の使用によるGHG排出量削減率(2015年度比)	▲29.4%	▲58%	▲63%	P021・022
		ZEH 率	53%	90%	原則100%	
		ZEH-M 率 賃貸住宅 分譲マンション	3% 35%	50% 100%	原則100% 原則100%	
		ZEB 率	38%	80%	原則100%	
		再エネ発電設備 施工実績 再エネ発電所 開発・運営実績 ZEH改修相当棟数	2,526MW 561MW 1,478棟	4,200MW 1,550MW 4,000棟	5,000MW 2,500MW —※	
自然環境との調和	2 事業活動におけるCO ₂ の “チャレンジ・ゼロ”	事業活動によるGHG排出量削減率(2015年度比)	▲20.8%	▲55%	▲70%	P023・024・025
		エネルギー効率(2015年度比)	1.47倍	1.9倍	2.0倍	
		再エネ利用率	18.2%	100%	100%	
		クリーンエネルギー自動車導入率 社用車 マイカー	0.3%	30% 10%	100% 30%	
		新築自社施設のZEB 率 太陽光発電設備搭載率	— —	100% 100%	100% 100%	
資源循環・水環境保全	3 サプライチェーンにおけるCO ₂ の “チャレンジ・ゼロ”	主要サプライヤーによるSBT水準のGHG削減目標設定率	34%	90%	主要サプライヤーによる GHG削減目標達成	P026
		再エネ・省エネソリューションの契約件数(支援件数)	—	50件(5か年累計)		
	4 森林破壊の “チャレンジ・ゼロ”	調達木材におけるCランク木材比率	2.7%	0%	0%	P031・032
		森林破壊ゼロ方針設定率 1次サプライヤー 2次サプライヤー以降 持続可能なコンクリート型枠採用比率	— — —	90% 50% 70%	100% 100% 100%	
	5 生物多様性損失の “チャレンジ・ゼロ”	生態系に配慮した緑被面積(累積)	—	100万㎡	200万㎡	P033・034・ 035・036
		自社施設の重要サイトにおける管理保全計画の策定・実施率 プラ素材配布物品代替率【オフィス等】	— 当社：81% グループ：92%	100% 100%	100% 100%	
	6 資源利用・廃棄物の “チャレンジ・ゼロ”	資産有効活用促進件数 建物長寿命化促進件数	3,989件 3,246件	3,100件 7,150件	—※ —※	P039・040
		廃プラのマテリアルリサイクル率【生産】	10.9%	30%	—※	
		特定アメニティプラ製品削減率(2021年度比) リサイクル率【ホテル】	— —	▲50% 50%	—※ 100%	
		主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミ目標設定率	34.5%	90%	主要サプライヤーによる 廃棄物ゼロエミ目標達成	
	7 水リスクの “チャレンジ・ゼロ”	居住用途およびホテルにおける節水機器採用率	89.8%	99%	100%	P042・043
		売上高あたりの水使用量削減率(2012年度比) 主要サプライヤーにおける水リスク調査実施率	▲46.8% —	▲45% 100%	▲45% 水リスク対応完了	
環境マネジメント		環境貢献型事業売上高	—	16,000億円	30,000億円	P009・015・027
		環境社会検定試験(e c o 検定)®取得者数	19,033名	38,000名		
		気候変動の適応策実施状況	—	実施完了		

化学物質による汚染の防止は、既に維持管理レベルのため、「チャレンジ・ゼロ」の設定はしていません。

また、EGP2026は、第7次中期経営計画と合わせ、当初の予定より1年前倒しとなる2025年度で終了します。そのため、2026年度目標は見直しを行っていません。

なお、次の環境行動計画(EGP2029)は2026年7月末発行のサステナビリティレポートで公開予定です。

※ 2026年度に策定。

📖 P044 化学物質による汚染の防止

P133 環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価